



釧路地域は、北海道の東部に位置し、1市6町1村で構成されています。
東部は丘陵地が多く、根釧原野で根室管内に、西部は直別川で十勝管内に、北部は千島火山帯の阿寒山系を境にしてオホーツク管内に接し、南部は235kmにも及ぶ海岸線を有し、北太平洋シーサイドラインとして太平洋に臨んでいます。
面積は約6千平方kmと北海道全体の7.2%を占め、ほぼ茨城県に匹敵する広さを有する地域です。
その管内市町村等が一丸となって地域の魅力を伝えるために取り組んでいる、釧路観光VRについて紹介します。



霧多布湿原（浜中町）



原生花園あやめヶ原（厚岸町）



釧路川カヌー体験（釧路町）



阿寒湖アイヌコタンとアイヌ古式舞踊（釧路市）

釧路地域を知ってろう！

釧路地域は、「釧路湿原」と「阿寒摩周」の2つの国立公園を有し、タンチョウやマリモトに代表される多様な野生動物が生息する豊かな自然環境と、新鮮で良質な「食」、またアイヌ伝統文化など、地域固有の魅力に溢れた資源に恵まれた地域です。

しかしながら、首都圏における認知度は高いとはいえず、東京都荒川区との交流事業として平成27年10月にJR日暮里駅前で開催した物産展「北海道くしろノ旬ノ秋の味覚市」のアンケート結果では、来場者から「釧路を知らない」「釧路という地名は聞いたことはあるが場所を知らない」などの声が多かったことから、首都圏等における効果的なPR方法を検討することが急務でした。

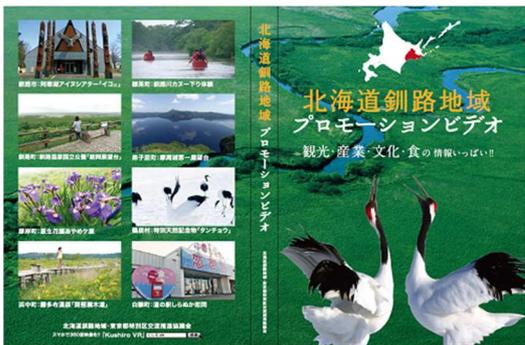
そこで、釧路管内全8市町村（釧路市・釧路町・厚岸町・浜中町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・白糠町）と釧路総合振興局などで構成する「北海道釧路地域・東京都特別区交流推進協議会」では、地方創生加速化交付金を活用して、釧路地域が持つ地域資源の魅力を360度映像で疑似体験することができるバーチャルリアリティ（VR）映像を制作することになりました。平成28年10月から公式WEBサイトで公開するとともに、道内外で実施される様々なプロモーションなどで実際に体験してもらい、釧路地域の魅力をPRしています。

釧路地域の多彩な魅力コンテンツ

VR映像は8つのコンテンツで構成されており、各コンテンツは、釧路管内全8市町村で1か所ずつ撮影した約1分30秒の映像となっています。

時間は短いです。が、釧路湿原の中を流れる釧路川でカヌーに乗り、釧路湿原ならではの自然を実感できる「釧路川カヌー体験」や、国の重要無形民俗文化財に指定されている「アイヌ古式舞踊」が見られる「阿寒湖アイヌコタンとアイヌ古式舞踊」、地平線を360度見渡せる北海道らしい雄大な眺めが見える「多和平（たわだいら）」など、釧路地域ならではの魅力を、VRの美しく迫力ある画像と臨場感により、強力なインパクトを視聴する方に伝えることができます。

また、様々な地域の映像をまとめることで、パラエティに富んだ魅力を感じることができ、幅広い方々に興味を持ってもらうことができると考えています。



▲ VR映像の他にDVDも制作し釧路地域の魅力をPRしている



鍛高譚のふるさと（白糠町）



どさんこ牧場乗馬体験（鶴居村）



硫黄山（弟子屈町）



多和平（標茶町）



▶ イベントでのVR体験の様子。親子での体験者も多い。

イベントでの活用

VR映像は、東京都荒川区で毎年開催している物産展をはじめ、道内外の様々なイベントで来場者に体験してもらっています。会場によっては体験待ちの行列ができるほどの人気で、VRに抵抗のない子供たちはもちろん、大人の方々も目の前に広がる美しい映像に声を上げて感動するなど大変好評です。

また、「釧路への興味が深まった」「ぜひ釧路に行ってみたくなった」という声が聞こえるなど、VRの体験をきっかけとして、釧路地域に興味を持つてくれる人が増えてきています。

協議会では、今後も道内外における様々なプロモーションで広く活用し、VRを通じて観光誘客や長期滞在（ちよつと暮らし）を促進するなど、更なる交流人口の増加や移住定住につなげていきたいと考えています。

さらに、VRの活用以外にも、首都圏における釧路地域の認知度向上のために、様々な手法を通じて効果的なPRを行っています。

誰でもどこでも見ることもできる手軽さ

釧路観光VRは、公式WEBサイトまたはiPhone・Androidのアプリケーションストアで、専用アプリをダウンロードすると、どなたでも御覧いただけます。VR専用ゴーグルがなくてもスマートフォンなどで手軽に視聴できますので、ぜひ御覧になってみてください。



▶ アプリのダウンロードはこちらから

地域を創る人

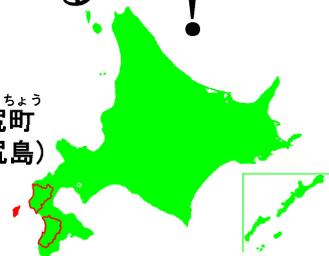
檜山編

13 そとぎき ゆうと
外崎 雄斗さん

交流したいならココへ！

ゲストハウスで奥尻島の魅力を伝える

おくしりちよう
奥尻町
(奥尻島)



ゲストハウス「imacoco (イマココ)」オーナー
妻と子ども2人の4人家族で奥尻島へ移住した元高校の英語教師。バックパッカーとして海外を旅した経験を生かし、奥尻島にゲストハウスをオープン。

平成30年4月、北海道の南西に位置する奥尻島に、ゲストハウス「imacoco (イマココ)」がオープンしました。オーナーは、御家族4人で奥尻島に移住してきた外崎雄斗さんです。

札幌市出身の外崎さんは大学在学中に京都で人力車夫として働きながらお金を貯めた後、世界一周を目指しバックパッカーとして海外を巡りましたが、旅を続ける中で、観光名所の美しい景色よりも現地の人や同じ旅行者と交流した経験が強く印象に残り、「自分が旅好きな理由はこれだ！日本に帰ったら色々な人が交流できる場所を作ろう」と決意したそうです。

大学卒業後は、釧路市内の高校で英語教師として働いていましたが、いつかゲストハウスを経営したいとの思いは変わらず、奥尻島の神威脇(かむいわき)地域を初めて訪れた際に、「着いた瞬間、ここだ！ここでゲストハウスを開こう！」と、直感でビビビと感じたと外崎さんは笑います。

そして、今年、今ここに立ち戻る、今ここを味わえる空間にしたい」という思いを込めて、念願のゲストハウス「imacoco」が誕生しました。

ゲストハウスには、旅行者が宿泊するのはもちろん、島外から奥尻高校に島留学している高校生も下宿しています。高校教師だった外崎さんにとって、下宿生の受入れも夢の一つだったため、奥尻島で実現できたことに運命を感じているそうです。

ゲストハウスでは、オーナー一家とゲスト、下宿生のみなが一緒にバーベキューをしたり、キャンプファイアーを囲んだり、滞在している人たちが自然と交流できる雰囲気を作っているほか、訪れた人に島の自然を体験できる「遊び」を提供したいと考え、アクティビティも用意しています。

「現在、メインに取り組んでいるのはSUP (スタンドアップパドルボード) という、立って漕ぐ

をしながら楽しめる絶景が沢山あるんです。日没後のマジックアワー※とか海面が青く輝く洞窟のような場所とか」。

また、外崎さんには他にも様々なアイデアが浮かんでおり、今後は、冬にも「テントサウナ」や「ブナ林水源ハイキング」などのアクティビティができないかと検討しているそうです。

「奥尻島は良いところですよ」と話す外崎さんは、島での暮らしに「不便は感じないし、これくらいがちょうどいい」と言います。

「都会のような発展は望まない。ただ様々な人が遊びに来てくれるような場所であり続けてほしい。日々の暮らしに疲れた人が、この島で充電して帰るとか、島の暮らしが肌に合う人は移住してもらって仲間に…とか、そんな島に、ゲストハウスにしたいですね」。

◀ SUPを楽しむゲスト。日没には日本海がオレンジ色に染まり、神秘的な風景に。



「いまここに…」という思いを表した「imacoco」のロゴ



地域を創る人

根室編

14 あさの しょうた 浅野 将太さん

若手漁師による標津産の魅力発信

標津の魚をアピールしたい



「標津漁師会」会長・漁師

標津町生まれ、標津町育ち。標津漁師会会長として、若手漁師の交流を図るとともに、標津産食材のPRや標津の魅力向上に関わる取組など、精力的に活動中。

日本有数の鮭の産地として知られる標津町。この町の若手漁師たちが、漁業者の交流などを目的に「標津漁師会」を発足したのは、平成28年10月のことでした。

当初は「月1回の飲み会のみだった」という漁師会ですが、次第に漁業の将来について話し合うようになり、「標津で獲れる魚を地元の人々に知ってほしい」という思いから、「獲れた魚を加工して販売する『漁業の6次産業化』」に関心を持つようになった」と会長の浅野さんは話します。

そうして実現した取組が「浜ピザ」です。具材に標津で獲れた「船上一本鮭」※の鮭やタコ、ホタテなど旬の魚介類を使い、標津産のチーズがとろける豪勢なシーフードピザで、生地には、浅野さんが帯広で生地づくりを習得したきっかけから十勝産小麦を使っています。今では年に数回、町内外のコンビニやイベントで販売される人気商品となっています。

また、漁師会では、町の若手酪

農家団体「ベコスケ」と協働して、町内の空き家を活用し、ブリやゴソカレイなどの魚介や牛乳、チーズなどの乳製品を使用した料理を提供する「漁農食堂」を開いており、食堂を訪れる方々に地元食材をPRしています。

標津で獲れる魚介類といえば、秋鮭が有名ですが、「秋鮭以外にも美味しい魚介が獲れることや、自分たちが獲った魚介のことを地元の人たちに知ってほしい」との思いから、鍋こわし※で有名なカジカを地元のレストランのシェフに試食してもらおうなど、標津産の普及にも取り組んでいます。

さらに、浅野さんは本業の漁業や漁師会の活動のかたわら、観光ガイドにも携わっています。特に、地引き網を実際に引いてみる漁業体験は、地元の子供たちや修学旅行生、外国人観光客などにとっても好評で、都会では真似ができない体験を通じて、町の魅力の発信にも取り組んでいます。

「今後も、若手漁師の交流とい

うコンセプトを大事にしながら、地元の人や観光客に標津産の魚介をもっと知ってもらえるような活動をしていきたいし、漁師がどのように魚を獲っているのかを、多くの人に知ってもらえたら嬉しい」とその思いを語ります。

漁師会では、これまでの取組を行う中で、「料理なんてしたことない」、「保健所への申請方法が分からない」など、数々の壁にぶつかってききましたが、「とりあえず動いてみる、動かないと始まらない」をモットーに、持ち前の行動力で打開してきた浅野さん。「今後も、自分たちの活動を知ってもらうために、漁農食堂の取組を中心に標津産の食材をPRしていく」と意気込みを語ってくれました。

◀ 満席の漁農食堂。標津産の食材を用いた美味しい料理に大人から子供まで大満足！



▶ 具材の魚介が豪勢な浜ピザ。屈強な標津の漁師が生地づくりから手がけている。

※ 船上一本鮭・・・船上で魚が活着しているうちに血を抜く「脱血」や延髄などの急所を断ち切る「即殺」を行い、品質や鮮度を向上させる標津町独自の技術。

18 ※ 鍋こわし・・・カジカ汁のあまりのおいしさに鍋をつつき過ぎて、鍋を壊してしまうことから。

北海道は 「持続可能な開発目標(SDGs)」 の推進に取り組んでいます！

エスディージーズ

SDGs(Sustainable Development Goals)とは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2015年9月、国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17のゴール(目標)と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられました。

SDGsは、2030年までに先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の目標です。



<北海道の取組> ~道は、国から「SDGs未来都市」に選定され(2018年6月)、以下の取組を進めています。

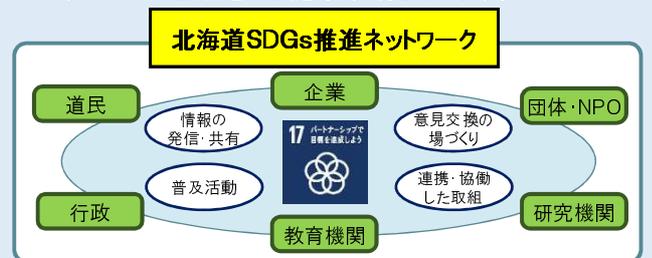
「北海道SDGs推進ビジョン」の策定 (2018年内策定予定)

「北海道SDGs推進ビジョン」を策定し、道民の皆様と共有しながら、北海道全体でSDGsの推進を図っていくこととしています。



「北海道SDGs推進ネットワーク」の運営

多様な主体の連携によるSDGsの推進に向け、「北海道SDGs推進ネットワーク」を運営しています。 ※ネットワーク入会申込みは随時、受付しています。



【ネットワークHP】 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/network.htm>



世界の中で
輝きつづける北海道



【お問い合わせ先】

北海道総合政策部政策局計画推進課SDGs推進グループ
TEL 011-206-6798(直通)
URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/top.htm>

北海道 S D G s 検索



バックナンバーは、創るWEBで

北海道創生ジャーナル

検索

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/csr/chicho/tsukuru/toppage.htm>